

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>平成 25 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：口腔機能増進のための歯科健康診査 「歯周病予防のための新唾液検査事業～だ液でカンタン歯周病チェック！ あなたの歯ぐきは大丈夫？～」</p>
<p>2. 申請者名：(公社)東京都港区芝歯科医師会 会長 矢島正隆</p>
<p>3. 実施組織：(公社)東京都港区芝歯科医師会 学識検査指導：鶴見大学歯学部探索歯学講座花田信弘教授 後援：港区 協力：新橋愛宕一之部連合町会 会場提供：新橋商事(株)</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>岩手県歯科医師会歯周病検診事業を基にして、唾液を検体とした生化学検査による数値判定結果（乳酸脱水素酵素値・唾液ヘモグロビン値）と生活習慣についての問診結果を総合判定し、歯周病のリスク判定をする CPI に頼らない『新たな歯周病検診』を、20 歳以上の不特定の港区在住・在勤者を含む対象者に無料唾液検査として実施する。地域における公益事業として一般への歯周病検診・歯周病予防の啓発、及び歯科医師に対し『新たな唾液検査』の可能性と将来性についての周知を目的としている。</p> <p>昨年度に引き続き唾液ヘモグロビン値の分析を 2 社にて行い、測定試薬の精度検定を実施する。また、今年度の新たな試みとして、唾液ヘモグロビンと歯周病菌の関連を調べる。唾液ヘモグロビンの値により若干名を選択し、PCR 法により歯周病菌の検出を行う。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>岩手県歯科医師会においてシステム化された、唾液を検体とした歯周病検診を実施する。この検診の特徴は検査結果が数値で出る点及び検査から事後措置の流れがシステム化されている点にある。実施に先立ち事後措置を担当する、登録医療機関を公募し、説明会を開催する。</p> <p>一般への歯周病検診・歯周病予防の啓発を目的とするため、テレビ局、厚生労働記者会等の記者クラブ、歯科商業雑誌社等に実施のプレス資料を配付。メディアに取り上げられる事により多くの方々への啓発・周知を期待する。また、歯科関連誌等を通じ歯科医師に対し『新たな唾液検査』の可能性と将来性についての周知を期待する。</p> <p>受診者及び登録医療機関にアンケートをとり事業を評価し、学会発表を行う。</p> <p>唾液ヘモグロビン値測定試薬の精度検定に関しては、栄研化学(岩手県予防医学協会にて使用)及びアルフレッサ・ファーマの 2 社間にて行う。今年度の新たな試みとして、唾液ヘモグロビンと歯周病菌の関連を調べた。唾液ヘモグロビンの値低い群より 12 名、高い群より 12 名を選択し、PCR 法により <i>P. gingivalis</i> 及び <i>A. actinomycetemcomitans</i> の検出を行う。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>ケーブルテレビの取材を受け、番組にて事業について紹介された。そして、紙面等で紹介されたのは以下の通り。デンタルダイヤモンド、歯界展望、クインテッセンス、歯科評論、東京都歯科医師会雑誌の 5 紙。この『新たな唾液検査』を本会会員以外にも周知するということが、一定の成果があったと思われる。</p> <p>受診者 250 名中 57 名より、受診後のアンケート回答を得ることができた。歯周病リスク判定結果を見て歯周病に関心を持った者は 93%、検査を次回も受けたいと答えたものは 92% だった。一般への歯周病検診・歯周病予防の啓発を目的とする事業として継続して行く意義は非常に大きいと考える。</p> <p>検査試薬の精度検定については今後も継続して行い、データの蓄積をしていく。唾液ヘモグロビンと歯周病菌の関連については次年度予算を増額し継続する予定。</p> <p>唾液検体の分析は岩手県の健診業者にて行っている。今後、唾液ヘモグロビン検査が実用化には、臨床検査会社との連携が重要である。地域の臨床検査会社へのアプローチは非常に重要な課題と考える。</p>